

後期高齢者医療

後期高齢者医療の被保険者の皆さんへ



詳しくは、町住民生活課までお問い合わせを

■仮徴収保険料額決定通知書を送付しました

今月から、平成25年度後期高齢者医療保険料の仮徴収が始まります。仮徴収の対象になる人には、「平成25年度後期高齢者医療仮徴収保険料額決定通知書」を送付しました。仮徴収保険料額などが記載されていますので、必ずご確認ください。

平成25年度後期高齢者医療保険料の仮徴収として、4月・6月・8月分が特別徴収（年金からの差し引き）になる人は、次の要件に当てはまる人です。

●対象者

○平成24年度の保険料が、年金支給月からの特別徴収だった人のうち、平成25年2月に支給された年金から保険料が特別徴収された人

○平成24年4月～9月までに後期高齢者医療制度の被保険者となり、平成24年度の保険料が普通徴収だった人

※仮徴収となる人の平成25年度保険料額は、7月に送付する「平成25年度後期高齢者医療保険料額決定通知書」で決定します。

■健康診査を受診しましょう

町では、後期高齢者医療被保険者の皆さんを対象に健康診査を実施します。

健康診査を受診することは、疾病の早期発見・早期治療につながります。忘れずに受診して、自分の体と健康の状態を確認しましょう。詳しくは、町住民生活課までお問い合わせください。

●検査項目

血圧・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・尿検査など

●自己負担額

800円

※がん検診・結核検査を併せて受診する場合は、別途自己負担が必要です。

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線107) ✉k1g204@town.kosa.lg.jp

子育て支援

町では、6月に町児童館内にファミリーサポートセンターの開設を予定しています。

▼開設場所

中早川児童館（甲佐町大字糸田9番地1・町民センターとなり）

■ファミリーサポートセンターとは

●子育てを地域で相互援助するお手伝いをする組織です

▼相互援助活動の例

- ・保育園への送り迎えの代行
- ・保育園の時間外や、学校の放課後での預かり
- ・保護者の買い物など外出時での預かり
- ・保護者の病気や冠婚葬祭などの急用時での預かり

●会員同士で支え合う組織です
 育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、同センターが仲介して、会員同士が支え合います。
 ※料金は、依頼会員から提供会員への直接支払いとなります。

■会員を募集します

同センターの開設にあたり、次のとおり会員を募集します。

●募集会員

- (1) 依頼会員
 育児の援助を受けたい人
- (2) 提供会員
 育児の援助を行いたい人（活動に必要な講習を受講していただきます）
- (3) 両方会員
 自分の急用時には子どもを預かってほしいけれど、時間があるときには子どもを預かることができる人

▼お問い合わせ先

・NPO法人子育て談話室
 ☎090-1513-5328

・町福祉課
 ☎096-234-1114
 (内線145)

✉k1g205@town.kosa.lg.jp

ファミリーサポートセンター会員を募集します



地域で支え合って子育て（写真はイメージ）

町福祉課 ☎096-234-1114(内線145) ✉k1g205@town.kosa.lg.jp

史跡「陣ノ内館跡」 発掘調査レポート #33



「陣ノ内館跡」の入口を発掘する様子

■「木戸丸」調査で分かったこと

平成24年度は、「木戸丸（きどまる）」の地名が残る台地の南西端を発掘調査しました。

「木戸」とは城の入口、「丸」とは城郭の内部を意味することから「木戸丸」とは、門や柵を設けた城の入口部分を指すとみられます。調査では、表土から順番に土の色を見ながら時代が新しい順に掘っていきます。その結果、東側と西側にこぶ状に盛り上がった地形が残りました。自然堆積した土と異なり、数種類の土を混ぜて固められた土は高さ50センチほど、東西に盛り上がった地形は2層ほど離れています。

当初、これが何なのかはつきりしませんでした。大学の先生数

人に見てもらい、ここが城の入口であるとの結論に達しました。東西に盛り上がった地形は土塁の跡で、こぶの間は道として機能していたようです。それを裏付けるように、間の土には、人や馬が何度も通るうちに固まった「硬化面」も見られます。

残念ながら門や柵の礎石（そせき）は見つかりませんでした。発掘したのは入口のちょうど外側に位置することから、掘削していない北側（城の内側）に門や塀があったものと思われます。この調査で、入口の1か所をほぼ確定することができました。

■今年度から出土資料整理を開始

発掘調査で、四方を回る土塁と堀の存在を明らかにできたほか、その規模まで推定できる材料がそろい、城の周囲を把握する大変貴重な成果が得られました。

平成20年度から行ってきた「陣ノ内館跡」の発掘調査も、平成25年度から出土資料の整理作業に移ります。最新の調査成果を伝えるこのコラムは、今月号で終了します。内容について詳しくお尋ねになりたい場合は、町教育委員会社会教育課までご連絡ください。

■計画への取り組みについて、懇話会で協議

「甲佐町男女共同参画計画」の平成23年度の取り組み状況について、男女共同参画社会推進懇話会で協議しました。

この意見を、今月号と来月号の2回に分けて報告します。

●多方面からの子育て支援に期待
子育て支援における「子ども医療費助成の充実」で、中学3年生までの医療費の保険内自己負担分の助成の実施は、特に町外から転入してきた保護者から「安心して病院に行ける」、「助かる」という声が聞かれ、大変喜ばれています。今後とも、多方面からの子育て支援の取り組みに期待しています。

●実施結果を具体的に把握して

計画に沿った町の取り組みがなされてきましたが、具体的な取り組みの実施内容や参加者数、参加者の反応などが分かりにくい状況にあります。

例えば、子育て支援がどのような状態か、その利用状況がどうだったのか、実施回数や参加人数などの数値結果を具体的に把握することによって改善点が見え、次年度の課題が明確になると思われます。

●町民のアイデアで町おこしを

町内に町職員の担当地区を割り当て、広く町民と接する機会を設け、行政と町民の意思疎通を図る「地区別担当者制度」の実現に向けて、早期に取り組んでほしいと思います。

町民のアイデアや、地道な実践などを取り上げて、町おこしへと発展できればと考えます。

▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会（事務局・町住民生活課内）

TEL 096・234・1113
(内線102)

「男女共同参画計画」 実施状況の協議意見①



町が策定した「甲佐町男女共同参画計画」